

ザ・ファシリテーション (2日間)

No. 225

目的

チームメンバーひとり一人の力を引き出すヒューマン・スキルとマインドの重要さに気づく
会議ファシリテーターに必要な情報収集・記録手法および板書の技術、まとめ方を学ぶ
メンバーの力を最大限に引き出す、会議のルール、進めかたを学ぶ

特長

演習形式で、ヒューマン・スキルの総合力を向上させる
参画型社会提唱者、KJ法の川喜田二郎開発のスキルを活用

対象 チームリーダー、プロジェクトリーダー、管理職
(最適人数 10数名 ~ 最大 30名程度)



Table of Contents [DAY1] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション
研修体系における本セミナーの位置づけと役割
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 参画的会議の基礎

会議の目的と"参画的"会議の意義
全員参加、図解で示す、論理的に説明する
事前準備と事後フォロー

2 記録力

情報収集の原則: 内部探検と外部探検
点から線へ、線から面へ、野外科学の点メモ技法
感情と思考の見える化
記録を使って、記憶を整理

3 コミュニケーションの種類と原則

コミュニケーション不全の4つのパターン
伝わるための、たった一つのポイント
人間力の発揮(誠実さと共感力)
ラポート(信頼関係を築くコミュニケーション)

4 傾聴力 (聞いてはいるけど聴いてない)

傾聴の姿勢と態度
うなずきと繰り返し
表情と声のトーン
沈黙とうながし

振り返りとまとめ
本日の反省点および達成度の確認
質問

[DAY2] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション

前日の振り返り
本日のセミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 "実践"「板書力」

板書の楽しさを味わう
押し付け型から、自主的発想型へ
自分で「まとめる」から、相手に任せ「まとまる」へ

2 参画的ブレイン・ストーミング

ブレイン・ストーミングとは?
ブレイン・ストーミングの問題点
パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換
メンバー全員で共通認識

3 会議で役立つ"推進力" 参画型ファシリテーター

「共感力」で、相手の気持を受け止める
「質問力」で、話題を展開させる
「信頼主義」で、建設的意見を引き出す
「場の力」を引き出し、創造的結論へ導く

4 "実践"会議「ファシリテーション」

「意見を発散させる」
「問題点を見つけ出す」
「対応策を考える」

振り返りとまとめ
反省点および達成度の確認
気づきとアンケート